

学校コード F114210104625

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

認可

注2

神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 ヘルスイノベーション専攻（博士課程）

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 ヘルスイノベーションスクール担当課

職名・氏名 ショニンシュジ ミウラコウヘイ
主任主事 三浦康平

電話番号 044-589-8100

（夜間） 同上

e-mail health-innovation@kuhs.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

ヘルスイノベーション研究科

ヘルスイノベーション専攻（博士課程）	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学

(2) 大学名

神奈川県立保健福祉大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒210-0821

神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-10 Research Gate Building TONOMACHI 2-A 2・3階
(〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオタニ ヤスオ) 大谷 泰夫 (平成30年4月)		
学長	(ナカムラ テイジ) 中村 丁次 (平成23年4月)	(ムラカミ アケミ) 村上 明美 (令和5年4月)	退職(5)
研究科長	(テイ ユウイチ) 鄭 雄一 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ヘルスイノベーション研究科 ヘルスイノベーション専攻 博士(公衆衛生学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	3年	2人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	6人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	2	-	1.66倍	-倍	1.66倍	-倍	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	(-)	4	(-)	2	(-)					
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	(-)	4	(-)	2	(-)					
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	(-)	4	(-)	1	(-)					
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	(-)	4	(-)	1	(-)					
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	2.50	-	2.00	-	0.50						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **転入学生は記入しないでください。**
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 (-)	- (-)	4 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 (-)	- (-)	4 (-)	- (-)	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 (-)	- (-)	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 (-)		9 (-)		10 (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	5人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	9人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	10人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 博士課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	パブリックヘルス・リーダーシップ特講	1前	2			5		3	1		1
	世界の健康課題とイノベーション特講	1後	1			1					1
	小計(2科目)	-	3			5		3	1		1
特別演習科目	疫学特別演習	1通		2		1		1	1		
	生物統計学特別演習	1通		2				1			
	社会行動科学特別演習	1通		2		2		1			
	環境保健学特別演習	1通		2		1					
	保健医療管理学特別演習	1通		2		3		1			
小計(5科目)	-		10		7		4	1			
特別研究科目	ヘルスイノベーション特別研究	1-3通	12			10		4	1		
	小計(1科目)	-	12			10		4	1		
合計(8科目)			-	15	10		10		4	1	1
卒業要件及び履修方法											
①本研究科に3年以上在籍し、必修科目15単位修得すること。 ②特別演習科目から4単位以上修得すること。 ③以上の要件を満たし、修了までに19単位以上修得するとともに、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	パブリックヘルス・リーダーシップ特講	1前	2			5	3	1	0		1
	世界の健康課題とイノベーション特講	1後	1			1					1
	小計(2科目)	-	3			5	3	1	0		1
特別演習科目	疫学特別演習(未開講)	1通		2		1		2	0		
	生物統計学特別演習	1通		2				1	0		
	社会行動科学特別演習(未開講)	1通		2		1	1	0			
	環境保健学特別演習(未開講)	1通		2		1					
	保健医療管理学特別演習	1通		2		2	1	0			
小計(5科目)	-		10		5	3	2	0			
特別研究科目	ヘルスイノベーション特別研究	1-3通	12			8	3	2	1		
	小計(1科目)	-	12			8	3	2	1		
合計(8科目)			-	15	10		8	3	2	1	1
卒業要件及び履修方法											
①本研究科に3年以上在籍し、必修科目15単位修得すること。 ②特別演習科目から4単位以上修得すること。 ③以上の要件を満たし、修了までに19単位以上修得するとともに、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	パブリックヘルス・リーダーシップ特講	1前	2			5	3	1	0		1
	世界の健康課題とイノベーション特講	1後	1			1					1
	小計(2科目)	-	3			5	3	1	0		1
特別演習科目	疫学特別演習	1通		2		1		2	0		
	生物統計学特別演習	1通		2			1	0			
	社会行動科学特別演習	1通		2		2	1	0			
	環境保健学特別演習 (未開講)	1通		2		1					
	保健医療管理学特別演習	1通		2		2	1	0			
小計(5科目)	-		10		6	3	2	0			
特別研究科目	ヘルスイノベーション特別研究	1-3通	12			9	3	2	1		
	小計(1科目)	-	12			9	3	2	1		
合計(8科目)	-	15	10		9	3	2	1		1	
卒業要件及び履修方法											
①本研究科に3年以上在籍し、必修科目15単位修得すること。 ②特別演習科目から4単位以上修得すること。 ③以上の要件を満たし、修了までに19単位以上修得するとともに、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	パブリックヘルス・リーダーシップ特講	1前	2			5	2	1	0		2
	世界の健康課題とイノベーション特講	1後	1			1					1
	小計(2科目)	-	3			5	2	1	0		2
特別演習科目	疫学特別演習	1通		2		1		2	0		
	生物統計学特別演習	1通		2				0		1	
	社会行動科学特別演習 (未開講)	1通		2		2	1	0			
	環境保健学特別演習 (未開講)	1通		2		1					
	保健医療管理学特別演習 (未開講)	1通		2		3	1	0			
小計(5科目)	-		10		7	2	2	0		1	
特別研究科目	ヘルスイノベーション特別研究	1-3通	12			10	2	2	0		
	小計(1科目)	-	12			10	2	2	0		
合計(8科目)	-	15	10		10	2	2	0		2	
卒業要件及び履修方法											
①本研究科に3年以上在籍し、必修科目15単位修得すること。 ②特別演習科目から4単位以上修得すること。 ③以上の要件を満たし、修了までに19単位以上修得するとともに、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

<p>1 変更の概要 以下のとおり教員の異動があったため、専任教員等の配置が変更となった。</p> <ul style="list-style-type: none">・講師2名が准教授に昇任・助教1名が講師に昇任・講師1名が辞任したが、引き続き兼任講師として就任し「パブリックヘルス・リーダーシップ特講」、「生物統計学特別演習」の指導を行った。「ヘルスイノベーション特別研究」についても他の教員が指導することで対応した。
<p>2 変更内容</p> <ul style="list-style-type: none">・「パブリックヘルス・リーダーシップ特講」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」に、「講師3」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に、「兼任0」から「兼任1」に変更・「疫学特別演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更・「生物統計学特別演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更・「社会行動科学特別演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更・「保健医療管理学特別演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更・「ヘルスイノベーション特別研究」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」に、「講師4」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・兼任1名が退職、准教授1名を追加したことにより、「パブリックヘルス・リーダーシップ特講」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に、「兼任1」から「兼任0」に変更・「生物統計学特別演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任1」から「兼任0」に変更・「ヘルスイノベーション特別研究」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更
<ul style="list-style-type: none">・教授1名が退職したことにより、「保健医療管理学特別演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更・「ヘルスイノベーション特別研究」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授9」に変更
<ul style="list-style-type: none">・助教1名を採用したことにより、「ヘルスイノベーション特別研究」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更

【令和5年度】

<ul style="list-style-type: none">・教授1名が退職したことにより、「社会行動科学特別演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更・「ヘルスイノベーション特別研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更
--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	5 科目	0 科目	8 科目	3 科目 [0]	5 科目 [0]	0 科目 [0]	8 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	18,042㎡	㎡	㎡	18,042㎡			
	運動場用地	6,722㎡	㎡	㎡	6,722㎡			
	小 計	24,764㎡	㎡	㎡	24,764㎡			
	そ の 他	14,318㎡	㎡	㎡	14,318㎡			
	合 計	39,082㎡	㎡	㎡	39,082㎡			
(2) 校舎	専 用	43,121㎡	0㎡	0㎡	43,121㎡			
	(43,121㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(43,121㎡)			
(3) 教室等	講義室	4室	2室	0室	0室			
				(補助職員 0人)	(補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻			17 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書資料の充実のため (5)
		冊	種	〔うち外国書〕				
	ヘルスイノベーション研究科	1,000 [400] (600 [100]) (1,128 [118])	30 [10] (30 [10]) (54 [54])	30 [30] (25 [25]) (54 [54])	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	計	1,000 [400] (600 [100]) (1,128 [118])	30 [10] (30 [10]) (54 [54])	30 [30] (25 [25]) (54 [54])	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
	198㎡		30		1,000			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	0㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	666千円	666千円	図書購入費	15,000千円	10,000千円	10,000千円
	共 同 研 究 費 等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	2,000千円	1,000千円	500千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		県内 818千円 県外 1,010千円	536千円	536千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		授業料、入学金、入学検定料、その他特定財源により維持運営し、不足する部分については神奈川県からの運営費交付金を充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神奈川県立保健福祉大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
保健福祉学部	4	230	2年次 3人	929	-	1.00	-	1.02	-	-	平成15	神奈川県横須賀市平成町1-10-1						
看護学科	4	90	0	360	学士 (看護学)	1.01	-	1.02	-	-	平成15	同上						
栄養学科	4	40	0	160	学士 (栄養学)	1.03	-	1.04	-	-	平成15	同上						
社会福祉学科	4	60	2年次 3人	249	学士 (社会福祉学)	0.97	-	1.02	-	-	平成15	同上						
リハビリテーション学科	4	40	0	160	-	0.98	-	0.99	-	-	平成15	同上						
理学療法専攻	4	20	0	80	学士 (理学療法学)	1.02	-	1.03	-	-	平成15	同上						
作業療法専攻	4	20	0	80	学士 (作業療法学)	0.93	-	0.96	-	-	平成15	同上						
大学全体	4	230	2年次 3人	929	-	-	-	-	-	-	-	-						

5 教員組織の状況

<ヘルスイノベーション研究科 ヘルスイノベーション専攻 博士課程>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】			【令和4年度】			【令和5年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	成松 宏人 (46) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	成松 宏人 (46) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	成松 宏人 (47) <令和3年4月> 博士(医学)
		疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究
専	教授	中原 慎二 (57) <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	中原 慎二 (57) <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	中原 慎二 (58) <令和3年4月> 博士(保健学)
		社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究
専	教授	吉田 穂波 (47) <令和3年4月> Master of Public Health (米国)	専	教授	吉田 穂波 (47) <令和3年4月> Master of Public Health (米国)	専	教授	吉田 穂波 (48) <令和3年4月> Master of Public Health (米国)
		社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究
専	教授	徳野 慎一 (58) <令和3年4月> Medicine Doktorsexamen (スウェーデン)	専	教授	徳野 慎一 (58) <令和3年4月> Medicine Doktorsexamen (スウェーデン)	専	教授	徳野 慎一 (59) <令和3年4月> Medicine Doktorsexamen (スウェーデン)
		パブリックヘルス・リーダーシップ特講 環境保健学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 環境保健学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 環境保健学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究
専	教授	川村 顕 (49) <令和3年4月> 博士(社会経済)	専	教授	川村 顕 (49) <令和3年4月> 博士(社会経済)			
		保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			
専	教授	昌子 久仁子 (67) <令和3年4月> 薬学士	専	教授	昌子 久仁子 (67) <令和3年4月> 薬学士	専	教授	昌子 久仁子 (68) <令和3年4月> 薬学士
		パブリックヘルス・リーダーシップ特講 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 ヘルスイノベーション特別研究
専	教授	坂巻 弘之 (65) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	坂巻 弘之 (65) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	坂巻 弘之 (66) <令和3年4月> 博士(医学)
		パブリックヘルス・リーダーシップ特講 保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究
専	教授	大西 昭郎 (62) <令和3年4月> Master of Business Administration (米国)	専	教授	大西 昭郎 (62) <令和3年4月> Master of Business Administration (米国)	専	教授	大西 昭郎 (63) <令和3年4月> Master of Business Administration (米国)
		パブリックヘルス・リーダーシップ特講 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 ヘルスイノベーション特別研究
専	教授	島岡 未来子 (52) <令和3年4月> 博士(公共経営)	専	教授	島岡 未来子 (52) <令和3年4月> 博士(公共経営)	専	教授	島岡 未来子 (53) <令和3年4月> 博士(公共経営)
		パブリックヘルス・リーダーシップ特講 世界の健康課題とイノベーション特講 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 世界の健康課題とイノベーション特講 ヘルスイノベーション特別研究			パブリックヘルス・リーダーシップ特講 世界の健康課題とイノベーション特講 ヘルスイノベーション特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>兪 炳匡 (54) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (PhD) Health Policy (米国)</p> <p>保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	講師	<p>津野(杉谷) 香奈実 (36) <令和3年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	講師	<p>渡邊 亮 (41) <令和3年4月> 博士(商学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	講師	<p>中村 翔 (33) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	講師	<p>方 雪敏 (42) <令和3年4月> Ph.D. of Biostatistics (米国)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 生物統計学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	助教	<p>Thomas Svensson (40) <令和3年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
兼任	教授(研究科長)	<p>鄭 雄一 (56) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 世界の健康課題とイノベーション特講</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>兪 炳匡 (54) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (PhD) Health Policy (米国)</p> <p>保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>津野(杉谷) 香奈実 (36) <令和3年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>渡邊 亮 (41) <令和3年4月> 博士(商学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	講師	<p>中村 翔 (33) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
兼任	講師	<p>方 雪敏 (42) <令和3年4月> Ph.D. of Biostatistics (米国)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 生物統計学特別演習</p>
専	講師	<p>Thomas Svensson (40) <令和3年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
兼任	教授(研究科長)	<p>鄭 雄一 (56) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 世界の健康課題とイノベーション特講</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>兪 炳匡 (55) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (PhD) Health Policy (米国)</p> <p>保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>津野(杉谷) 香奈実 (37) <令和3年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>渡邊 亮 (41) <令和3年4月> 博士(商学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>口羽 文 (42) <令和4年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 生物統計学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	講師	<p>中村 翔 (34) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	助教	<p>久保田 悠 (40) <令和4年4月> 博士(歯学)</p> <p>ヘルスイノベーション特別研究</p>
兼任	教授(研究科長)	<p>鄭 雄一 (57) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 世界の健康課題とイノベーション特講</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>兪 炳匡 (56) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (PhD) Health Policy (米国)</p> <p>保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>津野(杉谷) 香奈実 (38) <令和3年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 社会行動科学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>渡邊 亮 (43) <令和3年4月> 博士(商学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 保健医療管理学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	准教授	<p>口羽 文 (43) <令和4年4月> 博士(保健学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 生物統計学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	講師	<p>中村 翔 (35) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>疫学特別演習 ヘルスイノベーション特別研究</p>
専	助教	<p>久保田 悠 (41) <令和4年4月> 博士(歯学)</p> <p>ヘルスイノベーション特別研究</p>
兼任	教授(研究科長)	<p>鄭 雄一 (58) <令和3年4月> 博士(医学)</p> <p>パブリックヘルス・リーダーシップ特講 世界の健康課題とイノベーション特講</p>

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

・昇任のため、以下の3名の職名が変更。令和3年2月AC教員審査済。
津野（杉谷）香奈実：「講師」から「准教授」に変更
渡邊 亮：「講師」から「准教授」に変更
Thomas Svensson：「助教」から「講師」に変更
・方雪敏講師が辞任したが、引き続き兼任講師として、「パブリックヘルス・リーダーシップ特講」及び「生物統計学特別演習」の指導を行った。また「ヘルスイノベーション特別研究」についても他の教員が指導することで対応した。
・川村顕教授が辞任

【令和4年度】

・令和4年4月口羽文准教授を追加。令和3年11月AC教員審査済
・令和4年4月久保田悠助教就任。令和4年2月AC教員審査済

【令和5年度】

・中原慎二教授が辞任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
10	0	4	1	15	0	8	3	2	1	14	0
(10)	(2)	(3)	(0)	(15)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
15	10	0	0			14	8	0	0		
(15)	(10)	(0)	(0)			(14)	(8)	(0)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	3	2	1	14	0	8	3	2	1	14	0
[Δ2]	[3]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[3]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
14	8	0	0			14	8	0	0		
[Δ1]	[Δ2]	[0]	[0]			[Δ1]	[Δ2]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{15} = \boxed{93.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	方 雪敏	R3.6	必修	パブリックヘルス・リーダーシップ特選	①	R3.6.30付け転職のため辞任（4）			
				選択	生物統計学特別演習	①				
				必修	ヘルスイノベーション特別研究	①				
2	教授	川村 颯	R4.3	選択	保健医療管理学特別演習	①	R4.3.31付け転職のため辞任（4）			
				必修	ヘルスイノベーション特別研究	①				
				選択	社会行動科学特別演習	①				
3	教授	中原 慎二	R5.3	選択	社会行動科学特別演習	①	R5.3.31付け転職のため辞任（5）			
				必修	ヘルスイノベーション特別研究	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{15} = 20\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 生物統計学特別演習、パブリックヘルス・リーダーシップ特講及びヘルスイノベーション特別研究を担当していた生物統計学を専門とする教員(方 雪敬)が退職したが、引き続き兼任講師に就任し、生物統計学特別演習及びパブリックヘルス・リーダーシップ特講を担当した。また、ヘルスイノベーション特別研究については、研究課題を考慮し、既存の他の教員が指導を行うことで対応した。

・ また令和4年4月からは、同じく生物統計学を専門とする教員(口羽 文)を博士課程教員として補充した。

・ 保健医療管理学特別演習、ヘルスイノベーション特別研究を担当していた医療経済学教員(川村 顕)が退職したが、同じく医療経済学を専門とする他の教員(齋 炳匡、渡邊 亮)がそれらの科目・論文指導を担当することが可能である。

・ 社会行動科学特別演習、ヘルスイノベーション特別研究を担当していた社会行動科学を専門とする教員(中原 慎二)が退職したが、同じく社会行動科学を専門とする他の教員(吉田 穂波、津野 香奈美)がそれらの科目・論文指導を担当することが可能である。また、後任については現在選考を行っている。

・ 以上の理由から、教員変更による本研究科博士課程への影響はないと考えている。また、学生への周知はカリキュラムに反映し、適切に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和2年)</p>	<p>博士論文審査における副論文の掲載又は掲載予定が求められる時期について、「最終審査申請時点」、「最終審査が終了するまで」など、一部不整合な記載が散見されることや、副論文が未掲載の場合等の対応として求められる「指導教員の説明」の取扱いが不明確であることから、副論文の取り扱いについて改めて整理し、学生に対して適切に周知徹底を図ること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士論文審査における副論文の掲載又は掲載予定が求められる時期については、原則として「最終審査申請時点」で掲載または掲載が予定されている論文とした。 ・副論文が未掲載の場合等の対応として求められる「指導教員の説明」については、博士論文予備審査の時点で副論文の投稿の受付が完了していない場合に、投稿予定学術誌と投稿予定日、投稿が遅れた理由等を指導教員から説明することとした。 ・上記を明示した「ヘルスイノベーション研究科における博士論文審査実施要項」に改正し、学生に対して適切に周知を行った。 <p>(4) (5)</p>	<p>履行済</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)</p>	<p>該当なし</p>		
<p>設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)</p>	<p>該当なし</p>		

7 その他全般的事項

<ヘルスイノベーション研究科 ヘルスイノベーション専攻 博士課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
全学的な取り組みとして、FD・SD委員会を設置して、教員及び職員の資質向上に向けた検討を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
令和4年度は年16回開催。委員長及び構成員は教員が務めており、すべてに教員が参加している。

c 委員会の審議事項等
FD・SDの実施内容について等

② 実施状況

a 実施内容（別紙参照）

- ・ 研究倫理に関する研修会
- ・ アクティブラーニング事例研修会
- ・ LGBT等の学生へのハラスメントを防止するために
- ・ ハラスメント防止研修 等

b 実施方法
理事長、学長、専任教員、外部講師により、講演会方式や演習方式で実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
別紙のとおり

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
アクティブラーニングや様々な背景を持つ学生についての研修の機会を設けることで、授業の質の向上を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
授業の満足度等について、年2回実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等
アンケート結果を授業改善等につなげるため、研究科教授会で教員に周知した。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（博士課程）では、本研究科修士課程よりも一層専門的かつ高度なヘルスイノベーション研究に携わる研究者の養成を主な目的とし、またさらに研究職のみならず、行政部門や産業界などの様々な領域で高度な専門知識を持った人材の養成を目的としている。

入学者は全員、保健・医療・福祉分野のイノベーションに関心を持つ病院や企業、公的機関等に務める社会人であり、保健医療分野の未来を牽引する高度専門人材となることが期待される者であることから、設置の趣旨・目的は十分達成できていると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

自己点検・評価報告書として地方独立行政法人法で規定されている計画の実績に係る業務実績報告書を県へ報告後、公表する。（6月末予定）

また、県評価委員会からの評価結果についても受領後に公表する。（9月末予定）

なお、中期目標、中期計画等については大学ホームページで公表済みである。

b 公表方法

本学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（一般財団法人 大学教育質保証・評価センター）からの評価を受けた。

令和11年度に評価機関からの評価を受けるべく、学内で検討を行っている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

令和4年度 FD・SDについて（実績一覧）

1 全学的な取組み

日時	テーマ	講師	所属
4月20日	理事長・学長FD	大谷 泰夫 中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学理事長 神奈川県立保健福祉大学学長
5月18日	研究倫理に関する研修会	研究倫理委員会委員長	神奈川県立保健福祉大学
6月15日	システマティック・レビューについて	大田 えりか	聖路加看護大学大学院教授・コクランジャパン代表理事 副理事長
7月20日	高校における進路指導等	石川 一郎	聖ドミニコ学園カリキュラムマネージャー・21世紀型教育機構理事
8月17日	不祥事防止研修		大学事務局
9月21日	ハラスメント防止研修	吉武 清實	東北大学名誉教授
11月21日	発達特性のある学生への支援の方法	中島 美鈴	中島心理相談所所長
12月21日	医学研究のための個人情報保護法	黒田 佑輝	大江橋法律事務所
1月18日	アクティブラーニング事例研修	内田 賢一 大場 美穂	神奈川県立保健福祉大学
2月15日	LGBT等の学生へのハラスメントを防止するために	松岡 成子	特定非営利活動法人 ASTA代表理事
3月15日	障害がある学生の合理的な配慮	名執 宗彦	横浜国立大学大学院連携教授
3月17日	質的研究のシステマティックレビュー	今野 理恵	兵庫医科大学教授

※ 全12回、延べ1,268名が参加

2 大学院（ヘルスイノベーション研究科）における取組み

日時	テーマ	講師	所属
6月23日	ハラスメント防止研修	徳野 慎一 中村 翔	神奈川県立保健福祉大学
7月21日	教員プレゼンテーション（第1回）	Yoo ByungKwang 口羽 文	神奈川県立保健福祉大学
9月15日	教員プレゼンテーション（第2回）	Shen Yichen 久保田 悠	神奈川県立保健福祉大学
3月25日	教員間の更なるコラボレーションを生み出すためのブレインストーミング	徳野 慎一 Thomas Svensson	神奈川県立保健福祉大学

※ 全4回、延べ71名が参加

神奈川県立保健福祉大学委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、神奈川県立保健福祉大学学則第21条の規定に基づき、委員会に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 委員会の名称、主な所掌事項は別表1、委員数、あらかじめ定める委員及び委員会事務局は別表2のとおりとする。

2 前項に定めるほか、各委員会の委員は、大学の教職員から選出するものとする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理する。

4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が職務を代理する。

(委員会の招集および議長)

第4条 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

(成立)

第5条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

(議事)

第6条 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。ただし、委員会が特に重要と認めた事項については、出席した委員の3分の2以上の同意を必要とする。

(専門部会)

第7条 委員会は必要に応じ、専門部会等を設置することができる。

2 専門部会等の委員は、第2条第2項の規定を準用する。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員長は、必要に応じ、委員以外の者を出席させ、説明を求め、又は意見を述べさせることができる。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

大学委員会別表1

名 称	主な所管事項
総務・企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予算・決算に関すること(研究費の配分を含む) ○ 施設の整備・運営に関すること ○ 環境保全・安全管理に関すること(学生・職員、ゴミ対策等を含む) ○ 学内規程の整備に関すること ○ 年度計画・中期計画の策定に関すること
全学入試委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入試の実施方法に関すること ○ 入試の広報に関すること ○ 入試制度改革等の検討に関すること
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報に関すること(入試関係を除く) ○ 学内情報システムの活用に関すること ○ 大学ホームページの運営に関すること
FD・SD委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファカルティー・ディベロップメント及びスタッフ・ディベロップメントに関すること
人権・倫理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハラスメント防止指針に関すること ○ 差別と人権侵害の防止指針に関すること ○ 審査体制の運営に関すること ○ 倫理保持に関すること
図書委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 附属図書館に関すること ○ 図書資料等の収集管理に関すること
研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学誌の編集・発行に関すること ○ 教育研究活動報告書の編集・発行に関すること ○ 研究助成等の実施に関すること ○ 実験動物の管理・審査に関すること ○ 研究における安全の確保に関すること

大学委員会規程 別表2

※網掛け者が採決権ある構成員

#研究科の委員は学部委員の兼務可

名称	事務局	学長	副学長	学部長	保健福祉学 研究科長	ヘルスイ ンペーシ ョン研 究科長	事務局長	総務部	教務 学生部	企画・地 域 貢献部	ヘルスイ ンペーシ ョンス ケール 担当部	看護学科	栄養学科	社福学科	リハ学科	人間 総合科	保健福祉 学研究科	ヘルスイ ンペーシ ョン 研究科	地域 貢献C	政策研究 C	実践C	学外 委員	
総務・企画委員会	総務課			○	○		○	○	○	○	○	学科長	学科長	学科長	学科長	科長							
全学入試委員会	企画・地域 貢献課	○		○	○	○				○	○	← 学部・研究科入試委員会委員長出席# →											
広報委員会	企画・地域 貢献課							○		○	○	1人	1人	1人	1人	1人	1人#	1人#				○	
FD・SD委員会	企画・地域 貢献課			○	○		○	○		○	○	1人	1人	1人	1人	1人	1人#	1人#					
人権・倫理委員会	企画・地域 貢献課		○				○			○	○	1人	1人	1人	1人	1人	1人#	1人#				○	1人
図書委員会	総務課 図書館		図書館長					○			○	1人	1人	1人	1人	1人	1人#	1人#					
研究委員会	企画・地域 貢献課									○	○	1人	1人	1人	1人	1人	1人#	1人#					